

43 繁殖技術研修生

2016年度から、ET研究所では繁殖技術研修生の受け入れを開始しました！
将来、酪農家または和牛繁殖農家の仕事に従事するために、牛の人工授精及び受精卵移植などの繁殖に関する知識・技能を学ぼうとする方を研修生として受け入れ、現場と座学で腕を磨いてもらおうという制度です！

2016年度は記念すべき第1期生として2名を受け入れました。それまで直検などしたことがなく、牛繁殖は素人同然だった研修生たちですが、この1年間で目覚ましい成長を遂げました(*^▽^*)
今回は、この研修生たちの紹介をしたいと思います♪

チェック、人工授精まで幅広くこなすマルチプレーヤーに成長しました！

ET研に来るまでは発情を見るどころか、牛に触れたこともほぼなかったそうですΣ(・o・)ノ

第2号：Kくん
エコーで黄体確認中！

新ET及び農家採卵チームのメンバーとして各地を飛び回るKくんは、ET研のムードメーカーです(´▽`)

ET研の場内はもちろんのこと、農家さんのところでも完璧に仕事をこなすほどの腕前の持ち主でもあります★

4月からは繁殖義塾2年生として、より実践的な研修に移行します。

また、第2期生には新たに6名の研修生を迎えることになり、後輩の指導にも力を尽くしてもらうこととなります！

未来のエースたちの更なる活躍を期待してます(´▽`)

第1号：Mさん
ただ今人工授精中！

採卵を行う供卵牛チームに所属するMさんは、発情観察やエコーでの卵巣



ET研の「いま」が分かる「全農ET研ブログ」はコチラ▶▶<http://etken-blog.lekumo.biz/et/>
※編集の都合上、ブログと表記や写真等が異なる場合がございます

全農ET研究所「繁殖義塾」第3期研修生 募集要項

●対象者

将来、酪農家または和牛繁殖農家の仕事に従事するために、牛の人工授精及び受精卵移植などの繁殖に関する知識・技能を学ぼうと志す方で、心身健康で高校卒業以上の学歴を有する者、普通自動車免許を有し、マイカーでの通勤ができること。

●研修期間

- 2018年4月1日から
- 人工授精師(AI師)コース(若干名)
- 受精卵移植師(ET師)コース(若干名)

●研修内容

- 場内施設：黒毛和牛約500頭、乳牛未経産牛約1,000頭
- 農家庭先ET：4,000頭以上、農家庭先採卵：1,000頭以上

実践研修

- 発情観察、人工授精・受精卵移植補助業務、牛の健康観察、不妊牛治療の助手、採卵業務助手など

- 精液・受精卵の顕微鏡下での観察、農家庭先でのETや採卵業務助手など
- 繁殖管理台帳などの管理
- 試験牛を用いたAIやET実習

座学研修

上記に関連する基礎知識・最新技術の習得に関する研修(月に最低1回実施)

資格取得

- 本人の希望により、人工授精師・受精卵移植師などの資格取得が可能
- 資格取得のための講習経費は自己負担、講習参加の出張費用は本会が負担

●応募〆切り

2017年8月10日(木)

詳細は、全農ET研究所ホームページ▶▶<http://www.zennoh.or.jp/et/>をご覧ください。
お問い合わせは、全農ET研究所 管理課(TEL:01564-2-5811)まで



ET技術を活用して、優良和牛素牛、優良和牛繁殖牛の増産や、乳牛の後継牛確保・改良の研究を行う「JA全農ET研究所(ET研)」。そのET研が発信しているブログから、皆さまに役立つ情報を紹介していきます！

NO.12

41 発情観察職人

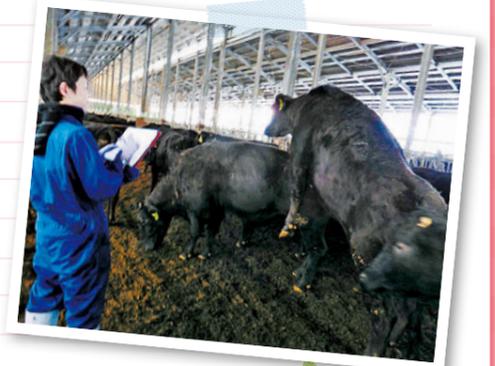
採卵成績向上のための最も地道かつ最も重要な仕事、それは発情観察ではないでしょうか！
ET研究所においても、朝・昼・夕の発情観察を徹底しております！
自然発情から同期化プログラムに入る牛を見つけるため、また同期化・PG投与後の授精の適期を見極めるため、発情発見は欠かせませんo(><)o

多くの方は発情発見のためにテイルペイントなどを用いると思いますが、ET研が誇る発情発見職人たちは道具に頼らず、ひたすら牛群を観察して発情兆候を見つけ出します(´・v´)
テイルペイントではスタンディングを示した時間が正確には分からず、授精適期を確実に見極め

ることができないからだと思います。
職人の仕事ぶりをご覧ください(*´▽`)/
毎朝、早い時には5時半くらいからひたすら牛群を見つめ続けております。しっかり乗られてピタッと止まる、良い発情を見逃しません！

ちなみに職人いわく、この写真のマウンティングにはやる気が感じられないそうです(´△`)

最後に職人からのメッセージ！
「発情発見が全てのスタートラインである」
うーん、かっこいい〜♡



42 素晴らしいアイデア

こんにちは、東日本分場です！
先日、千葉の農家さんへ採卵でうかがわせていただきましたが、良いものを見つけたので紹介したいと思います(>▽<)/
現場作業に従事している皆さまは、よくこんな経験があると思います。作業をする上で牛を保定することは欠かせませんが、それでも牛が大暴れして作業がなかなか進まなかったり……蹴られて痛そうになってヒヤツしたり、実際に蹴られてしまったり……やはり体の大きな動物なので油断はできませんよね(>_<)
そこで紹介したいのがコチラ！
さて上の写真、スタンションの上にあるものはなんでしょう(矢印部分)(*´▽`)/
普段はロープで固定してこのような状態にあるのですが、それを下ると、一瞬で牛が枠に入れ

られたかのような状態になっています。これで尻を振る動きは防ぐことができますね(*^_^*)v

最後にお尻の後ろにある横向きのパイプを前に押ししていくと……

これで後ろ蹴りを封じます！(写真下)素晴らしいアイデアです(*´▽`*)
この方法なら多くの頭数を簡単に保定することができますよね♪
すごいです〜！採卵にうかがったET研一同感心してしまいました！

本当に作業がしやすい！ありがたい！スムーズに作業ができました♪
今日もまた、素晴らしいアイデアとご協力に感謝の1日でしたp(*´-`*)q

